

令和3年度 学校評価アンケート 集計結果

結果を踏まえて、次年度の教育活動に生かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

No	質問項目		パーセント (%)					数 (人)				
			大変当てはまる	ほぼ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	その他	大変当てはまる	ほぼ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	その他
1	四中は、教育目標や学校の様子をわかりやすく伝えている。	生徒	33%	52%	5%	1%	10%	137	216	21	5	40
		保護者	11%	72%	10%	6%	1%	39	248	33	20	3
2	生徒は、目標を持ち学校生活を送っている。	生徒	22%	52%	15%	1%	10%	93	216	62	5	43
		保護者	12%	61%	22%	2%	3%	42	208	75	6	12
3	生徒は、授業がわかりやすいと感じている。	生徒	22%	67%	7%	1%	2%	94	282	30	3	10
		保護者	3%	56%	23%	1%	18%	9	191	78	4	61
4	生徒は、授業の中で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。	生徒	25%	58%	12%	2%	4%	103	242	50	8	16
		保護者	6%	52%	24%	5%	12%	20	180	84	18	41
5	先生は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。	生徒	38%	43%	7%	2%	10%	160	181	30	7	41
		保護者	17%	60%	9%	0%	14%	57	207	32	0	47
6	四中は、学校行事に積極的に取り組んでいる。	生徒	48%	37%	9%	0%	6%	202	156	37	0	24
		保護者	19%	65%	8%	1%	8%	65	222	26	2	28
7	四中は、部活動に積極的に取り組んでいる。	生徒	51%	35%	7%	0%	7%	212	147	29	1	30
		保護者	17%	57%	15%	2%	9%	60	197	50	6	30
8	四中は、将来の進路や職業に対し、適切な指導を行っている。	生徒	36%	39%	5%	1%	19%	150	163	22	3	81
		保護者	9%	55%	11%	1%	24%	30	188	38	4	83
9	四中は、学力向上に積極的に取り組んでいる。	生徒	37%	48%	7%	1%	7%	157	201	29	3	29
		保護者	6%	48%	24%	2%	20%	20	164	84	6	69
10	この1年間（4月～）で、生徒は学習面（意欲、家庭学習時間）で成長したと感じる。	生徒	33%	42%	17%	3%	6%	139	175	70	11	24
		保護者	16%	41%	31%	7%	6%	54	139	105	23	22
11	この1年間（4月～）で、生徒は生活面（あいさつ、時間やルールを守る、等）で成長したと感じる。	生徒	41%	43%	11%	1%	4%	170	181	48	5	15
		保護者	10%	56%	23%	3%	8%	35	192	79	11	26
12	学校施設及び設備について満足していますか。	生徒	15%	44%	30%	7%	4%	63	183	126	30	17
		保護者	6%	53%	23%	1%	16%	21	181	80	5	56
13	学校にある机、いす、音楽備品、技術家庭科備品、美術備品、体育備品及び理科備品について、充実していますか。	生徒	31%	48%	11%	2%	7%	129	201	48	10	31
		保護者	4%	45%	12%	1%	38%	14	155	40	3	131

回答数 保護者：343名 生徒：419名

【集計結果の考察】

「生徒は、目標を持ち学校生活を送っている」という設問に対して、生徒と保護者の肯定的な回答（大変当てはまる・ほぼ当てはまる）がほとんど一致しました。努力している側（生徒）と、その努力を見て評価する側（保護者）の数値がほとんど同じということは、努力している側（生徒）が認められていることがわかります。これにより、生徒自身の自己肯定感が増し、さらに向上心を持って学校生活に取り組もうと思えるような良好な関係が親子で構築されていることがわかりました。また、昨年度からの感染対策により行事や部活動の大会が中止になるなか、生徒一人一人がしっかりと目標を持ち続け学校生活を送っていることがわかります。少しずつ、行事や部活動の大会が再開されていく中で、できることへの喜びと、次への向上心が抱けているように感じています。

〔肯定的であった回答項目（大変当てはまる・ほぼ当てはまる）※生徒・保護者ともに70%以上〕

- ①四中は、教育目標や学校の様子をわかりやすく伝えている。
- ②生徒は、目標を持ち学校生活を送っている。
- ⑤先生は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。
- ⑥四中は、学校行事に積極的に取り組んでいる。
- ⑦四中は、部活動に積極的に取り組んでいる。
- ⑪この1年間（4月～）で、生徒は生活面（あいさつ、時間やルールを守る、等）で成長したと感じる。

（考察）

上記の内容から、生徒からも保護者の方からも学校内での取り組みが学校外へと発信された「開かれた学校」であると一定の評価をいただきました。今後も、生徒の様子を学校便りや学校ホームページといった情報ツールを使用しての情報伝達、保護者会や二者・三者面談等での顔を合わせた情報伝達を行い、学校の様子が少しでも伝わるように努力していきたいと考えております。

〔生徒と保護者で差のあった回答項目〕

- ③生徒は、授業がわかりやすいと感じている。（生徒から-20%）
- ④生徒は、授業の中で課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。（生徒から-25%）
- ⑧四中は、将来の進路や職業に対し、適切な指導を行っている。（生徒から-11%）
- ⑨四中は、学力向上に積極的に取り組んでいる。（生徒から-31%）

（考察）

上記の内容から、主に学習に関する設問において、生徒と保護者の間での差が出ていることがわかります。学校生活の大部分は授業であるため、全職員が今回の結果を真摯に受け止め、生徒にわかりやすい授業、生徒がもっと学びたいと感じる授業を目指してまいります。また、今年度より新たな学習指導要領となりました。今後、グローバル化・AI等の技術発展が急速となり、発展が予測困難な時代へと移り変わります。その予測困難な時代を生きる力として「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力」が必要となります。④の項目が達成されるように、主体的・対話的で深い学びを追求した授業を行い、時代を生き抜く力を高めていきたいと考えています。

進路や職業に関する指導に関しては、例年1年生で働く人から話を聞く機会や、2年生では職場体験、3年生では進学へ向けた学習が行われています。今般の感染症の影響もあり実施ができていないものもありますが、生徒一人ひとりが将来について関心を持ち、将来に向けて学校生活を送れるような指導・支援を各学年で行っていききたいと考えています。

この貴重なアンケート結果を真摯に受け止め、生徒一人ひとりが着実に成長していくことができるよう、今後とも教職員一丸となって指導に当たってまいります。お子様の様子や学校の取組等に関して、気になることがございましたら、遠慮なく学校まで御連絡をいただければ幸いです。